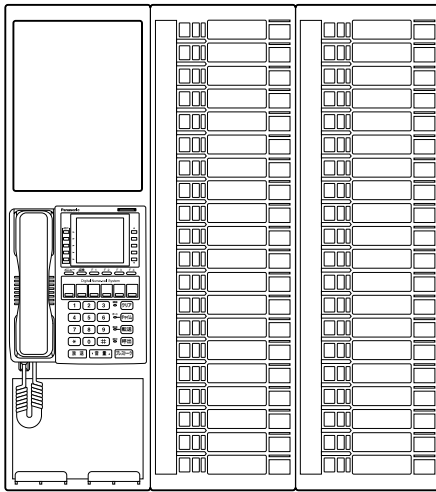


# Panasonic

## ナースコールシステム 取扱説明書

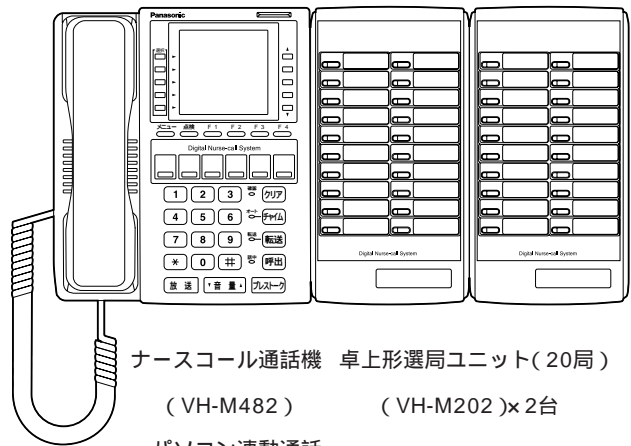
ボード形通話ユニット	品番	VH-M483
ボード形選局ユニット	品番	VH-M203
ナースコール通話機	品番	VH-M482
卓上形選局ユニット	品番	VH-M202
パソコン連動通話機	品番	VH-M481

### ボード形親機



ボード形通話ユニット    ボード形選局ユニット(20局)  
(VH-M483)                      (VH-M203) × 2台

### 卓上形親機



ナースコール通話機    卓上形選局ユニット(20局)  
(VH-M482)                      (VH-M202) × 2台

パソコン連動通話機  
とナースコール  
通話機の外観は同  
じです。

このたびは、ナースコールシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
そのあと保存し、必要なときにお読みください。

# ナースコールシステムは

患者さん、病室からの呼び出しに应答するシステムです。

患者さん(病室)



看護婦さん



ナースステーション



看護婦控室



## 《特 長》

ボード形親機、卓上形親機、コードレス電話機を組み合わせ、最大3通話、同時に利用できます。

パソコン連動通話機にパソコンを接続すると、選局などの操作をパソコンで行うことができます。

病院側の映像を親機側へ、親機側の映像を病室側へ送ることができます。

( 「その他のオプション機器」42ページ )

# もくじ

## はじめに

安全上のご注意	4
使用上のお願いとお知らせ	6
各部の名前 / 付属品	7
お使いになる前の準備	10
・ 部屋番号、患者名を記入する	10
調節・設定を行う	11
・ 音量を調節する	11
・ 液晶表示のコントラストを調節する	11
・ 夜間転送を設定する	11
・ 通話時間を変更する	11
・ 着信優先順位・呼出パターン・呼出チーム・日付・時刻・受話音量・ 送話音量を調節する	12

## 操作説明

患者さんから呼ばれたら	22
・ 受話器で話すとき	22
・ プレストークで話すとき	23
・ 2ヵ所以上から呼ばれたら	24
・ 通話中に呼ばれたら	25
患者さんを個別に呼び出し、通話する	26
・ 受話器で話すとき	26
・ プレストークで話すとき	27
放送する	28
・ 放送する	28
・ 任意の患者さんに放送する	29
親機の液晶画面について	30
・ 患者さんから呼ばれた場合	30
・ 同時に複数の呼び出しがあった場合	31
・ 通常の出呼中に緊急呼出があった場合	32
・ 夜間転送中の場合	33
・ オプション入力、センサー入力があった場合	34
親機のランプと動作の関係	35
コードレス電話機について (オプション)	36
病室アダプターの動作について	38
ハンド子機について	39

## その他

その他のオプション機器	42
映像伝送アダプター接続時	43
・ 受話器で話すとき	43
・ プレストークで話すとき	44
・ 放送する	45
・ 任意の患者さんに放送する	46
仕様	47
保証とアフターサービス	裏表紙

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



**警告**

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



**注意**

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容を、次の絵表示で説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



**警告**

異物を入れない



水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

禁止

ただちに電源を切り、販売店にご連絡ください。

水などをかけない



発熱や火災の原因となります。

禁止

## 警告

### 分解・改造しない



感電の原因となります。

分解禁止

修理や点検は、販売店にご連絡ください。

### 通風孔はふさがない



内部に熱がこもり、火災の原因となります。

禁止

### 指定以外の別売機器や、互換性のない機器は接続しない



火災や感電の原因となります。

禁止

# 使用上のお願いとお知らせ

<p>強い衝撃や振動を与えないでください。 故障や破損の原因となります。</p>	<p>隣接して使用しているラジオや、テレビに雑音が入るときは、2m以上離してください。</p>
<p>硫化水素の発生する場所で使用しないでください。 故障や機器の寿命が短くなる原因となります。</p>	<p>放熱のため制御装置の周囲(30cm以内)に物を置かないでください。 機器内部に熱がこもり、故障の原因となります。</p>

## オプション機器について

オプション機器の「安全上のご注意」については、オプション機器の取扱説明書をご覧ください。

## お手入れについて

乾いた柔らかい布でふいてください。

汚れがひどいときは、台所用洗剤(中性)を水で薄め、柔らかい布にしみこませ、固く絞り、軽くふいてください。その後、乾いた柔らかい布で洗剤成分をふき取ってください。

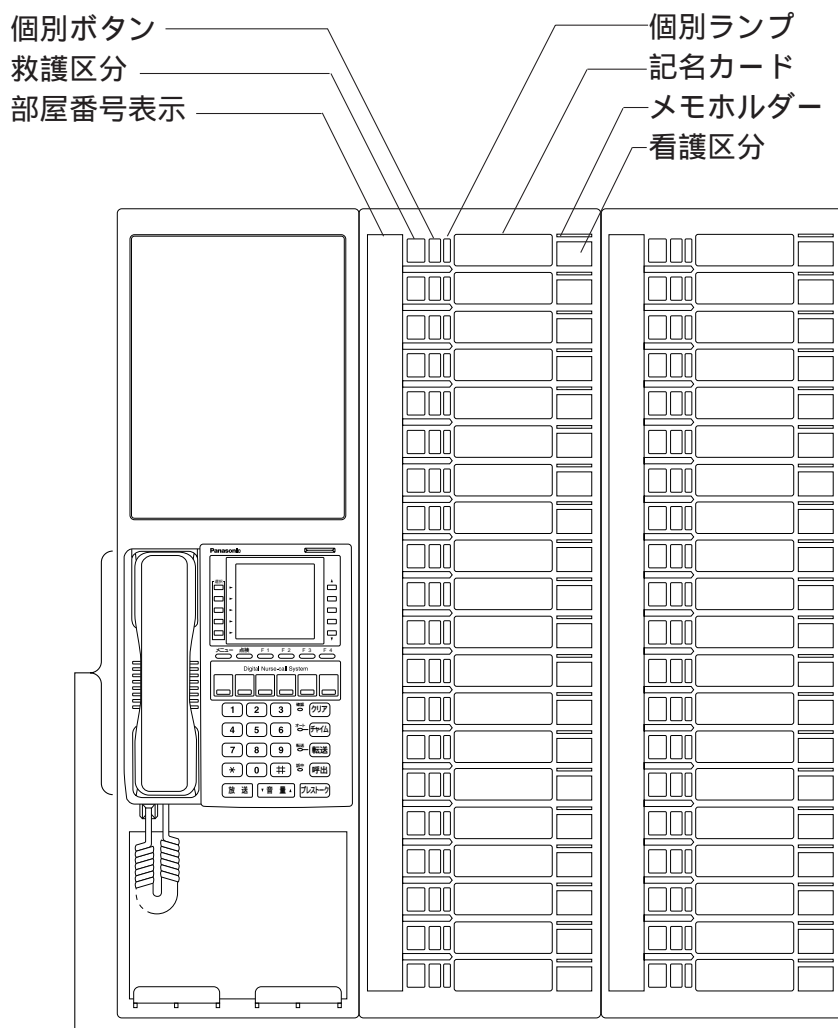
ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと、変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

# 各部の名前 / 付属品

## ボード形親機

図は40局用で、ボード形通話ユニット（VH - M483）1台、ボード形選局ユニット（VH - M203）2台で構成しています。局数によりボード形選局ユニットの台数が異なります。



親機の説明は次ページの卓上形親機をご参照ください。

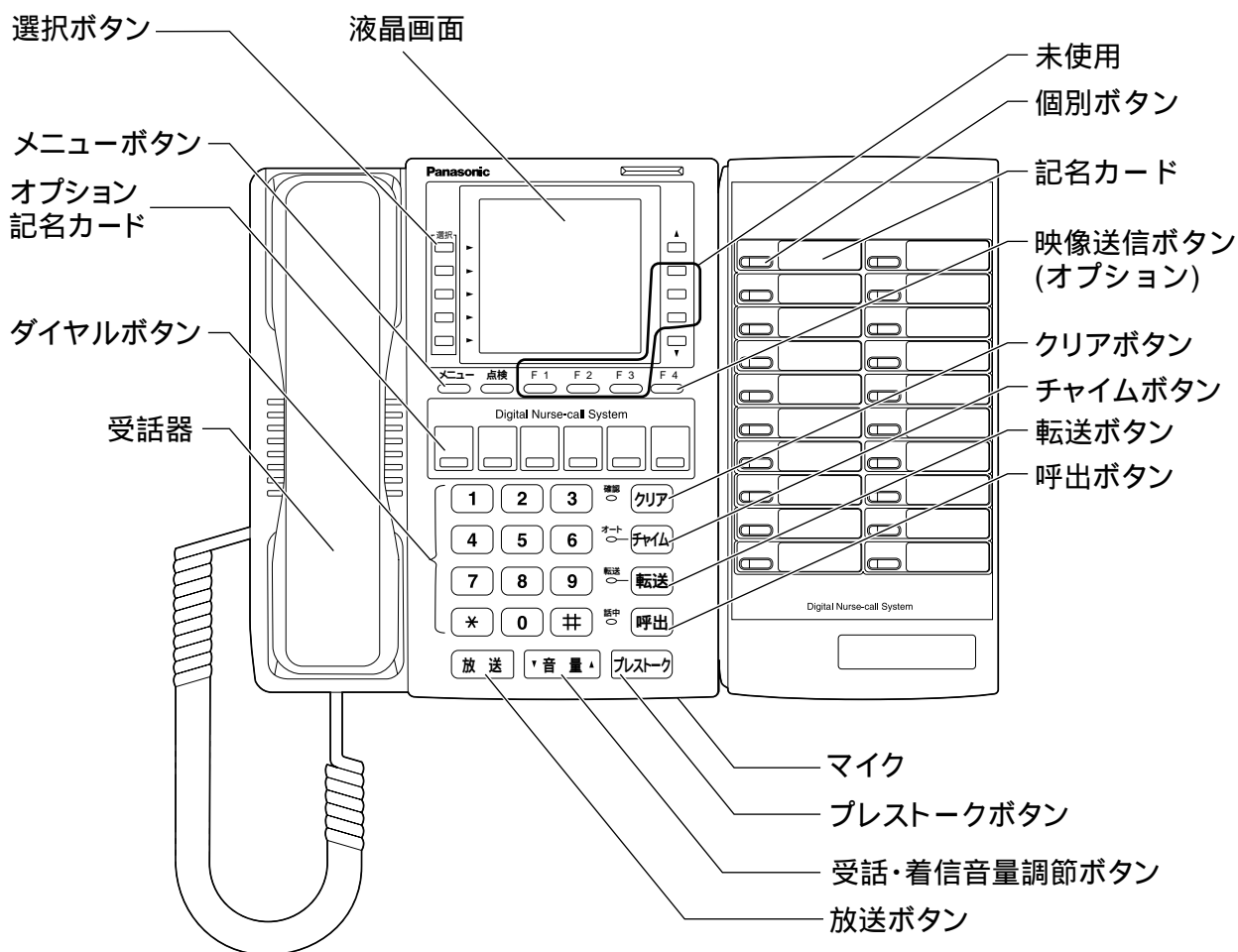
### 付属品

- 取扱説明書 ..... 1 (VH-M483)
- 部屋番号区切板 ..... 10 (VH-M203)
- 記名カード ..... 20 (VH-M203)
- メディカルプレート ..... 30 (VH-M203)      (独歩、護送、担送各10枚)

# 各部の名前 / 付属品

## 卓上形親機

図は20局用で、ナースコール通話機 (VH - M482) 1台、卓上形選局ユニット (VH - M202) 1台で構成しています。局数により卓上形選局ユニットの台数が異なります。



### お知らせ

パソコン連動通話機 (VH-M481) とナースコール通話機の外観と操作のしかたは同じです。パソコン連動通話機に卓上形選局ユニットを接続することはできません。



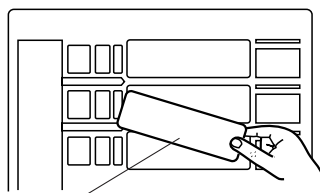


# お使いになる前の準備

## 部屋番号、患者名を記入する

### 1 記名カード（マグネット式）を親機からはずす

《ボード形親機》



記名カード

《卓上形親機》



記名カード

### 2 油性のサインペンで記入する

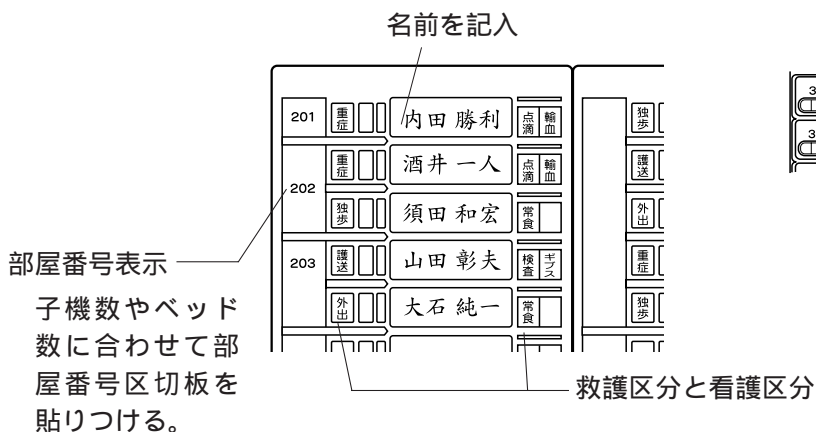
鉛筆やボールペンなどを使うと記名カードに傷がつきます。

サインペンの種類により消えにくいものがありますので、はじめに薄く書いて消えるかどうか確かめてください。

消すときは、アルコールを含ませたガーゼで消し、乾いたガーゼでふきとってください。

《ボード形親機記名例》

《卓上形親機記入例》



### お知らせ

付属品での不足分はマグネット式のメディカルプレート（形状No100型）をお使いください。（別売）

### 問い合わせ先

株式会社 メディカルプレートコヤナギ  
〒461 - 0042 名古屋市東区矢田町 8 - 51  
電話番号(052) 711 - 1831

# 調節・設定を行う

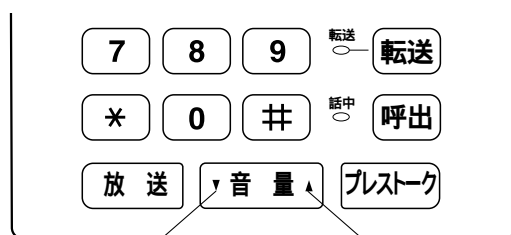
## 音量を調節する

### 呼出音量の調節方法

音量調節ボタン（大）あるいは（小）を押し、音量を調節する。（4段階調節）

### 受話音量の調節

通話中に音量調節ボタン（大）あるいは（小）を押し、音量を調節する。（4段階調節）



音量調節ボタン（小） 音量調節ボタン（大）

## 液晶表示のコントラストを調節する

受話器を置いた状態で  ボタンを押し。

この状態で音量調節ボタン（大）あるいは音量調節ボタン（小）を押し、コントラストを調節する。（17段階調節）

### お知らせ

10秒以上、操作しないとコントラスト調節を終了します。

## 夜間転送を設定する

夜間等に不在となる親機への呼び出しを、センターの親機へ転送することができます。

### 1. 転送方法

転送元の親機の受話器を上げた状態で  ボタンを押し。

➔ “テンソウチュウ”と親機の液晶画面に表示され、転送ランプが点灯する。

### 2. 転送解除方法

上記操作により転送設定した親機の受話器を上げ、再度  ボタンを押し。

➔ 液晶画面の“テンソウチュウ”が消え、転送ランプが消灯する。

## 通話時間を変更する

通話時間は出荷時90秒となっています。変更する場合は販売店にご相談ください。（30～240秒）

# 調節・設定を行う

着信優先順位・呼出パターン・呼出チーム・日付・時刻・  
受話音量・送話音量を調節する

## 調節モードへの入り方

受話器を置いた状態で[メニュー]ボタンを押すと図1のような設定モードになります。(この状態で[クリア]ボタンを押せば通常状態に戻ります。)3秒以上押した場合は工事設定メニューに入ってしまう。誤って入った場合は[クリア]ボタンを押すと通常状態に戻ります。

### お願い

工事設定メニューでの内容変更は絶対行わないでください。正常に動作しなくなる恐れがあります。

(図1)

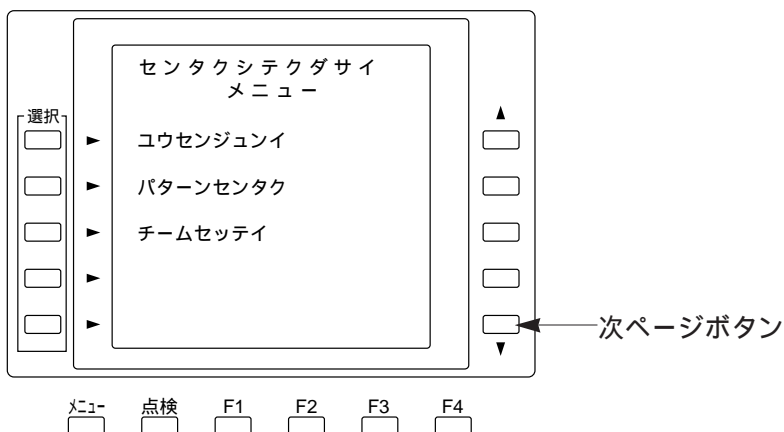
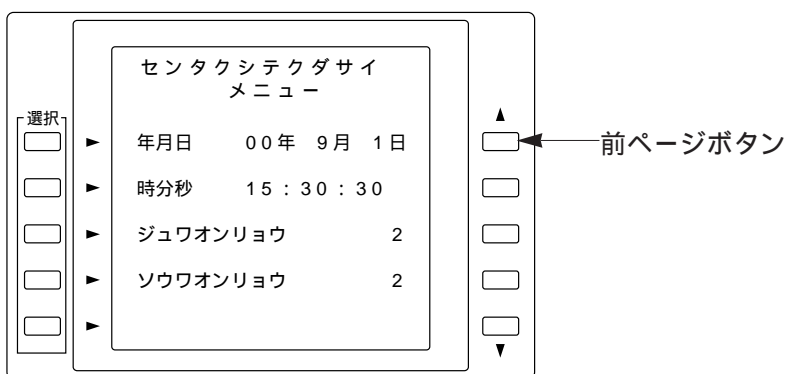


図1の右下の次ページボタンを押すと図2のように次ページが表示される。(右上の前ページボタンを押すと、前ページに戻ります。)

(図2)



### お知らせ

各調節モードにおいて受話器を取り、その後戻すと通常状態に戻ります。

他の親機で設定中の場合、設定項目の左横に“\*”が表示されます。この時は“\*”が表示されている項目は設定することができません。“\*”が消えてから設定を行ってください。

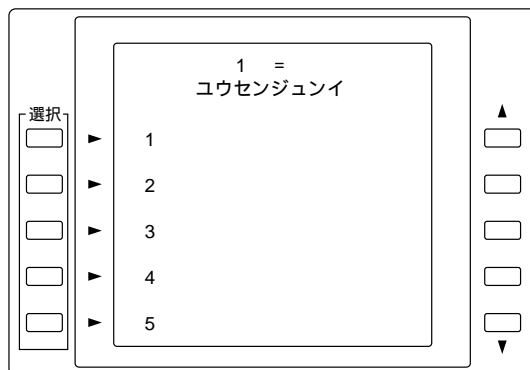
年月日・時分秒は表示の関係上読みにくくなっています。

パソコン連動通話機(VH-M481)では、受話器を置いた状態で[メニュー]ボタンを押すと図2の表示になります。日付、時刻、受話音量、送話音量以外の設定はできません。

着信優先順位を設定する（複数の子機から呼び出しがあった場合）

図1（12ページ）の状態では液晶画面に“ユウセンジュンイ”と表示している左横の選択ボタンを押す。（何も設定されていない場合は図3の表示となる）

（図3）



この状態で優先順位を1番高くしたいベッド番号（部屋番号 - 子機番号）を押す。

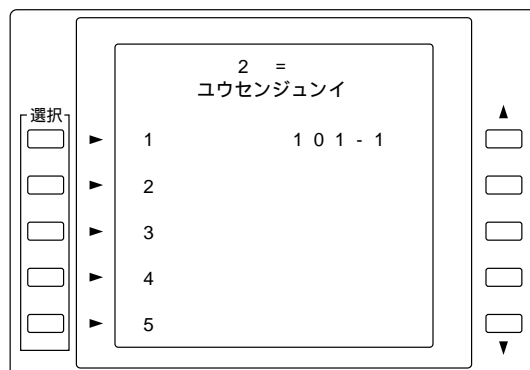
例：101-1の場合はダイヤルボタンで      と押す。

（ベッド番号を押す代わりに選局ユニットの個別ボタンによっても選択できます。）

ボタンを押す。

図4の表示となる。

（図4）



この状態で優先順位を2番目に高くしたいベッド番号（部屋番号 - 子機番号）を押す。

ボタンを押す。

この操作を繰り返して行うことにより最大20個のベッド番号の優先順位設定を行える。

（途中で止める場合は  ボタンを押すと図1の表示となり、その状態で再度  ボタンを押すと通常状態に戻る。）

# 調節・設定を行う

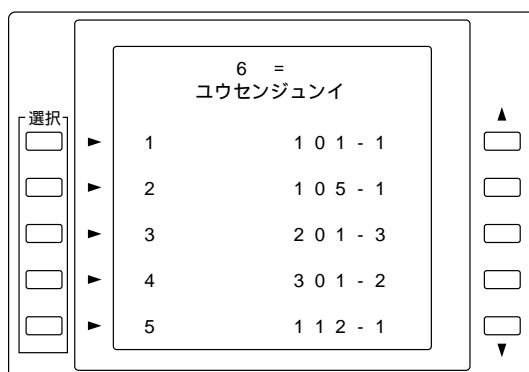
着信優先順位を変更する

## お願い

優先順位設定が20個入ってる場合は、16ページの消去操作を行った後、下記設定を行ってください。

図1(12ページ)の状態では液晶画面に“ユウセンジュンイ”と表示している左横の選択ボタンを押す。(優先順位1~5が設定済みの場合は図5のように表示される)

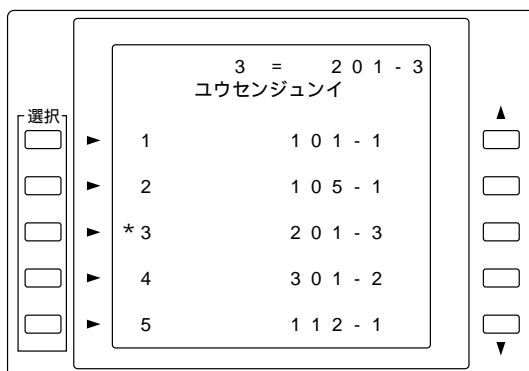
(図5)



優先順位2と3の間に他のベッド番号を設定したい場合

液晶画面左に“3”と表示された左横の選択ボタンを押す。(図6のように表示される)

(図6)



**クリア** ボタンを押す。

優先順位2と3の間に設定したいベッド番号を押す。

例：ベッド番号が102-2の場合はダイヤルボタンで **1** **0** **2** **\*** **2** と押す。

**呼出** ボタンを押す。(図7の表示となる)

(図7)

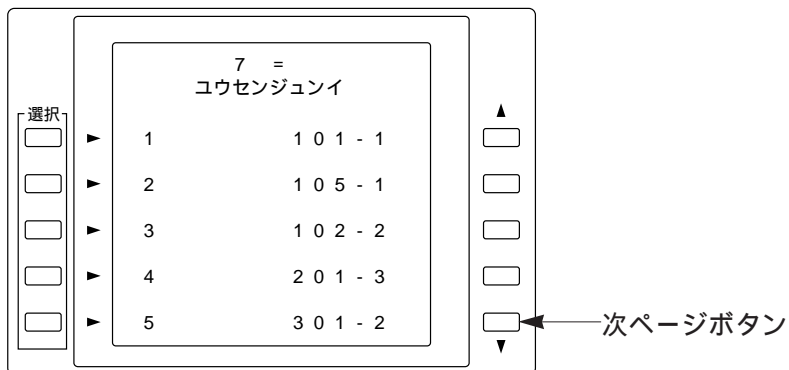


図7の右下の次ページボタンを押すと図8のように次ページが表示される。

(図8)

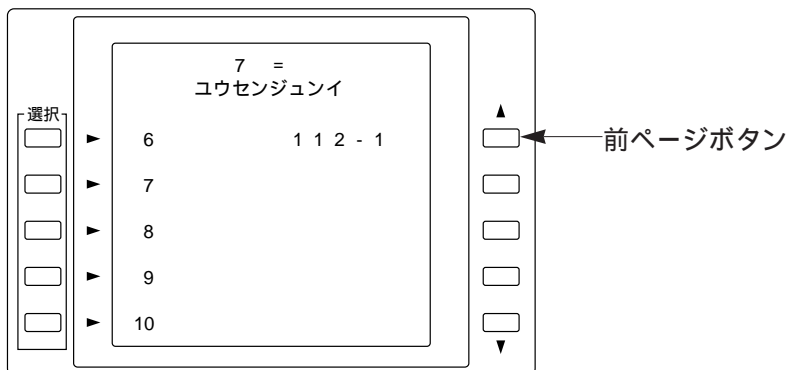


図8の状態ですべての前ページボタンを押すと図7の表示となる。

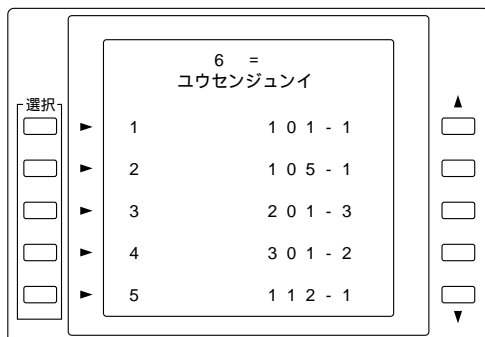
設定終了時は「クリア」ボタンを押すと図1の表示となり、その状態で再度「クリア」ボタンを押すと通常状態に戻る。

# 調節・設定を行う

優先順位設定したベッド番号を消去する

図1 (12ページ) の状態で液晶画面に “ ユウセンジュンイ ” と表示している左横の選択ボタンを押す。(優先順位1～5が設定済みの場合は図9のように表示される)

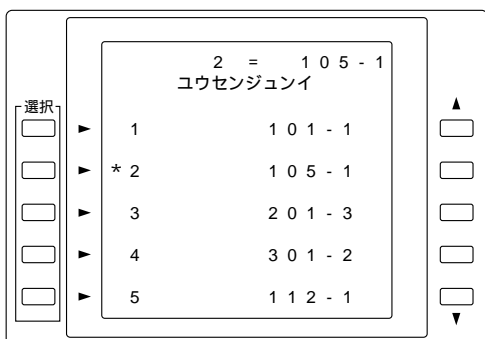
( 図9 )



優先順位2のベッド番号 ( 105-1 ) を消去する場合

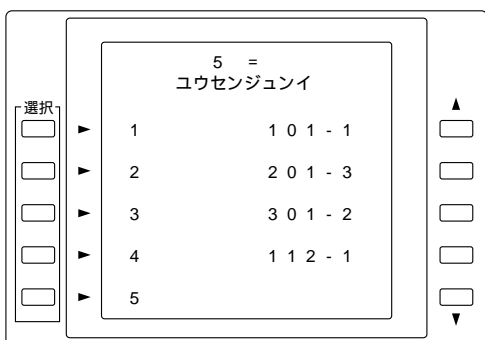
液晶画面左に “ 2 ” と表示された左横の選択ボタンを押す。( 図10のように表示される )

( 図10 )



**クリア** ボタンを押し、続けて **呼出** ボタンを押すと優先順位2のベッド番号 ( 105-1 ) が消去され、優先順位3以降のベッド番号が繰り上がり、図11のように表示される。

( 図11 )



消去終了時は **クリア** ボタンを押すと図1の表示となり、その状態で再度 **クリア** ボタンを押すと通常状態に戻る。



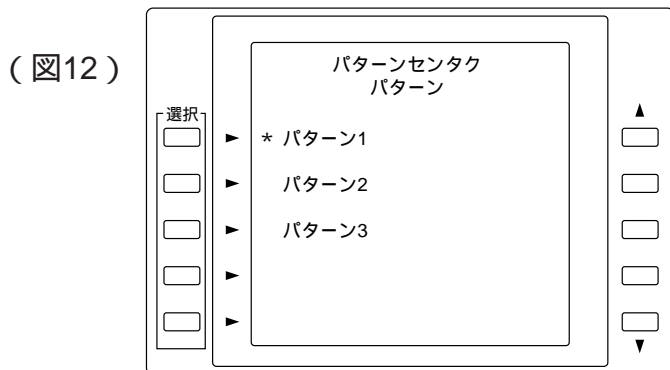
## 呼出パターンを設定をする

呼出パターンを選択することにより、呼び出されるコードレス電話機を設定します。

各呼出パターンには、あらかじめチームごとにグループ番号が設定されています。

図1（12ページ）の状態では液晶画面に“パターンセンタク”と表示している左横の選択ボタンを押す。

図12の表示となる。（現在設定されているパターンの左横に“\*”が表示されます。）



### お知らせ

パターンに一致しないグループ番号が設定されている場合、“\*”が表示されません。

設定したいパターンの左横の選択ボタンを押す。

“\*”の表示が選択したパターンに切り変わります。

設定終了時は **クリア** ボタンを押すと図1の表示となり、その状態で再度 **クリア** ボタンを押すと通常状態に戻る。

### お知らせ

パターンごとのグループ番号を変更する場合は、販売店にご相談ください。

# 調節・設定を行う

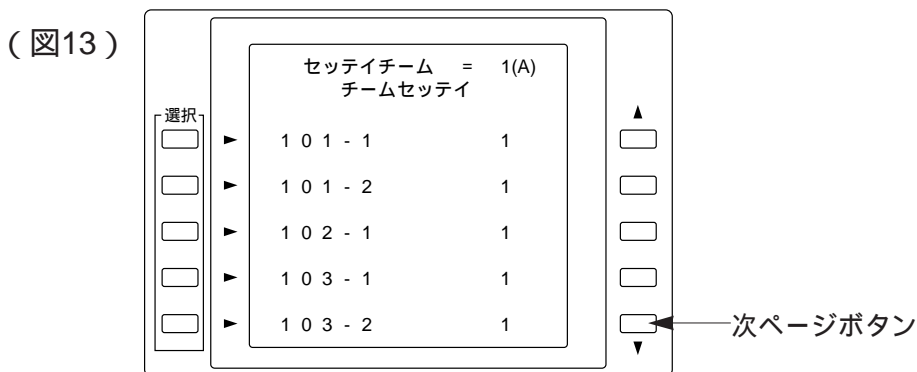
## 呼出チームを設定する

担当する患者さんの呼出チームを、呼出チームごとに設定します。

患者さんからの呼び出し（ナースコール等）は設定された呼出チームのコードレス電話機に着信します。

図1（12ページ）の状態では液晶画面に“チームセッテイ”と表示している左横の選択ボタンを押す。

図13の表示となる。



設定するチームの番号をダイヤルボタンを使用して  ~  の間で入力する。

設定するベッド番号を選択ボタンで選択する。（選択ボタンを押す代わりに選局ユニットの個別ボタンによっても選択できます。）

選択したベッド番号の右側のチーム番号が変わる。（選択した選局ユニットの個別ボタンが点滅します。）

図13の右下の次ページボタンを押すと図14のように次ページが表示される。

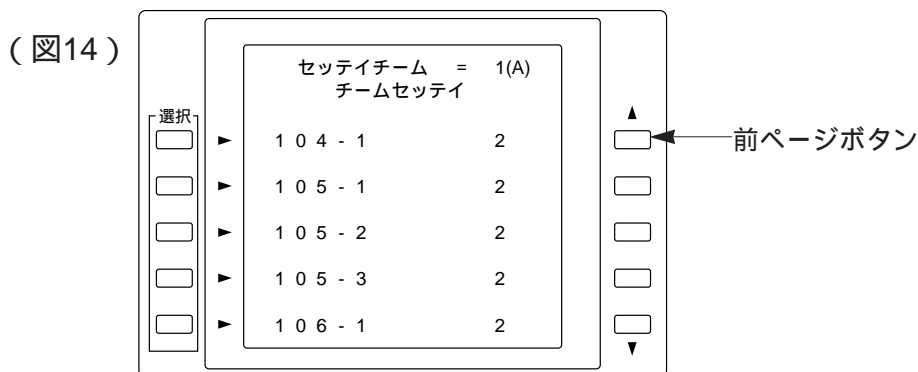


図14の状態では右上の前ページボタンを押すと図13の表示となる。

設定終了後は  ボタンを押すと図1の表示となり、その状態で再度  ボタンを押すと通常状態に戻る。

## お知らせ

連続して選択ボタン（個別ボタン）を押した場合、設定されないことがあります。設定できなかった選択ボタン（個別ボタン）を再度押して設定してください。

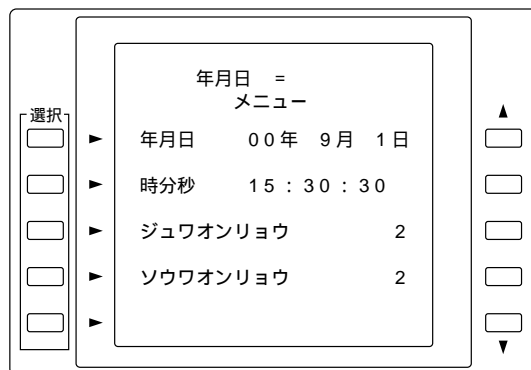
工事上の設定によっては表示されるベッド番号がベッド番号順に並ばないことがあります。

## 日付(年月日)を変更する

図2（12ページ）の状態では液晶画面に“年月日”と表示している左横の選択ボタンを押す。

（図15の表示となる）

（図15）



この状態で年月日を6けた入力する。

例：2000年9月8日の場合、ダイヤルボタンで000908と入力する。

**呼出** ボタンを押す。（変更しない場合は**クリア** ボタンを押す。）

図1（12ページ）の表示に戻る。（この状態で**クリア** ボタンを押すと通常状態に戻ります。）

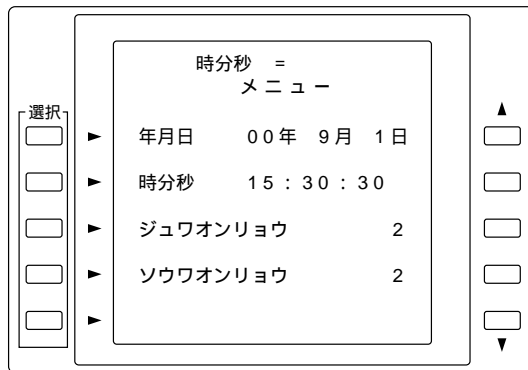
# 調節・設定を行う

時刻(時分秒)を変更する

図2(12ページ)の状態では液晶画面に“時分秒”と表示している左横の選択ボタンを押す。

(図16の表示となる)

(図16)



この状態で時分秒を6けた入力する。

例：7時7分8秒の場合、ダイヤルボタンで       と入力する。

ボタンを押す。(変更しない場合は  ボタンを押す。)

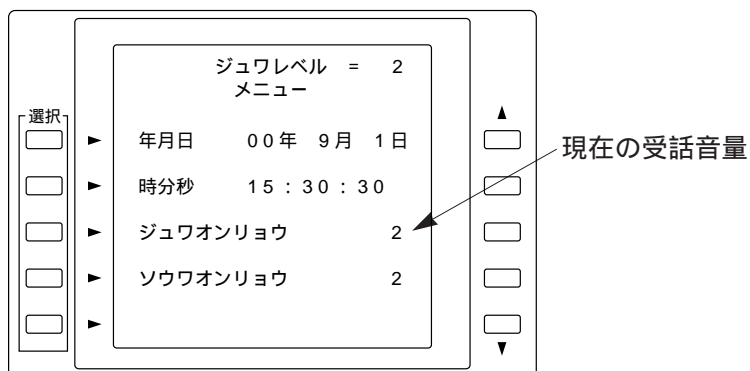
図2(12ページ)の表示に戻る。(この状態で  ボタンを押すと通常状態に戻ります。)

受話音量(通話時に受話器から聞こえる音量)を変更する

図2(12ページ)の状態では液晶画面に“ジュワオンリョウ”と表示している左横の選択ボタンを押す。

(図17のように表示される)

(図17)



受話音量をダイヤルボタンを使用して  ~  の間で入力する。(数値が大きいほど受話音量は大きくなります。)

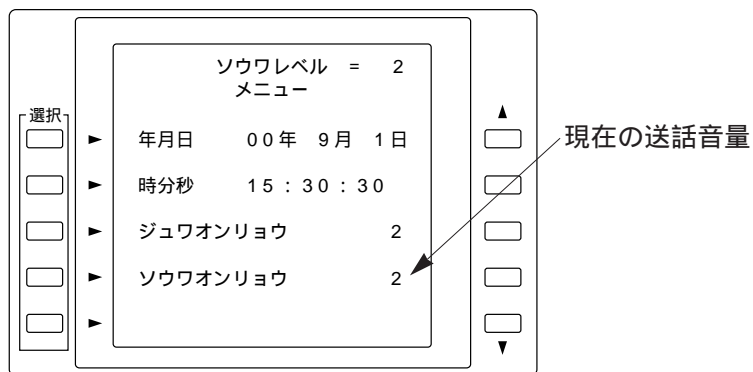
ボタンを押す。(変更しない場合は  ボタンを押す。)

図2(12ページ)の表示に戻る。(この状態で  ボタンを押すと通常状態に戻ります。)

## 送話音量（通話時に子機から聞こえる音量）を変更する

図2（12ページ）の状態では液晶画面に“ソウワオンリョウ”と表示している左横の選択ボタンを押す。（図18のように表示される）

（図18）



送話音量をダイヤルボタンを使用して **1** ~ **3** の間を入力する。（数値が大きいほど送話音量は大きくなります。）

**呼出** ボタンを押す。（変更しない場合は **クリア** ボタンを押す。）

図2（12ページ）の表示に戻る。（この状態で **クリア** ボタンを押すと通常状態に戻ります。）

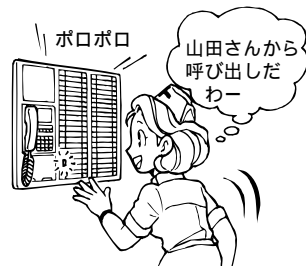
# 患者さんから呼ばれたら

(ボード形親機を用いて説明していますが、卓上形親機の場合も同様の操作となります。)

## 受話器で話すとき

### 1 呼出音が鳴り、呼び出している個別ランプおよび親機の着信ランプが点滅

親機の液晶画面に着信種別(ナースコール等)とベッド番号(部屋番号 - 子機番号)が表示される。



### 2 受話器を取り、通話する

個別ランプが点灯し、着信ランプが消灯。

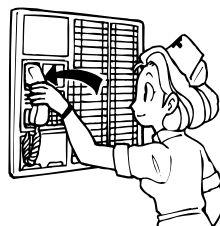
親機の液晶画面の最上部に通話中の着信種別とベッド番号(部屋番号 - 子機番号)が表示される。



### 3 終わったら、受話器を戻す

個別ランプが消える。

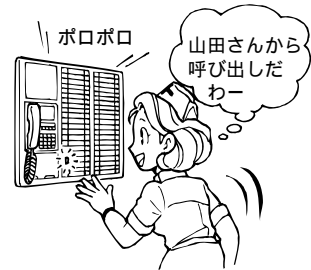
液晶画面がカレンダー表示に戻る。



## プレトークで話すとき

- 1 呼出音が鳴り、呼び出している個別ランプおよび親機の着信ランプが点滅

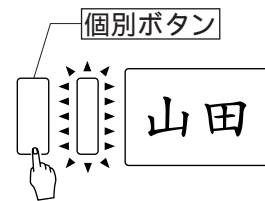
親機の液晶画面に着信種別（ナースコール等）とベッド番号（部屋番号 - 子機番号）が表示される。



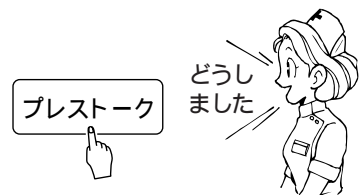
- 2 個別ボタンを押す

個別ランプが点灯し、着信ランプが消灯。

親機の液晶画面の最上部に通話中の着信種別とベッド番号（部屋番号 - 子機番号）が表示される。



- 3 プレトークボタンを押し続けながら、マイクに向かって話す



- 4 プレトークボタン から手を離して聞く



- 5 終わったら、クリアボタンを押す

個別ランプが消える。

液晶画面がカレンダー表示に戻る。



### お知らせ

他の親機などが先に応答したときは個別ランプが点灯し、応答操作をすると話中音（ツーツー）が聞こえ、液晶画面に“ツウワチュウ”と表示されます。

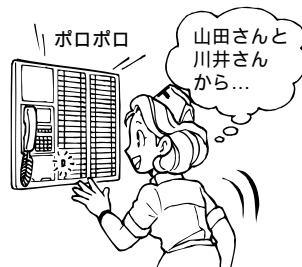
同一病室内の患者さんが別の親機と通話中に応答操作をすると話中音（ツーツー）が聞こえ、液晶画面に“ツウワチュウ”と表示されます。

# 患者さんから呼ばれたら

## 2カ所以上から呼ばれたら

### 1 呼出音が鳴り、呼び出している個別ランプおよび親機の着信ランプが点滅

親機の液晶画面に着信種別（ナースコール等）とベッド番号（部屋番号 - 子機番号）が表示される。  
（優先度の高いものが上から順に表示される。）



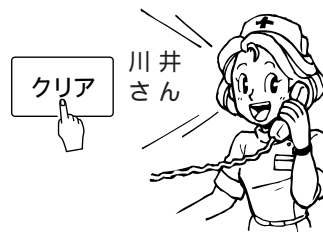
### 2 受話器を取り、最初の相手と通話する

先に呼び出した患者さんにつながる。（受話器からは呼出音が小さく聞こえる）  
通話先の個別ランプが点灯。  
着信中の個別ランプおよび親機の着信ランプは点滅を継続。



### 3 終わったら、クリアボタンを押し、次の相手と通話する

次に呼び出した患者さんにつながる。  
通話先の個別ランプが点灯し、着信ランプが消灯。



受話器を一度戻して、再度取っても次の患者さんに応答できます  
応答する患者さんを選びたいときは

➡呼出音が鳴ったとき、応答したい患者さんの個別ボタンまたは、親機の“選択”ボタンを押してから受話器を取ります。

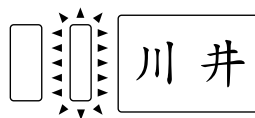
優先設定について

➡あとのからの呼び出しでも優先的につながるように、着信優先順位を設定できます。  
（13ページ参照）



## 通話中に呼ばれたら

- 1 呼び出している個別ランプおよび親機の着信ランプが点滅し、受話器から着信音が小さく聞こえる



- 2 応答するときは、クリアボタンを押す

最初の患者さんとの通話が終了し、  
次の患者さんにつながる。  
通話先の個別ランプが点灯し、着信ランプが消灯。



- 3 通話する



受話器を一度戻して、再度取っても次の患者さんに応答できます  
プレトークで話しているときは

➡クリアボタンを押すと、次に呼び出した相手と通話できます。

(クリアボタンを押したときに、話中音(ツーツーツー)が聞こえ、液晶画面に”ツウワチユウ”と表示された場合は、通話したい相手の個別ボタンを押して通話してください。)

# 患者さんを個別に呼び出し、通話する

(ボード形親機を用いて説明していますが、卓上形親機の場合も同様の操作となります。)

## 受話器で話すとき

### 1 受話器を取る

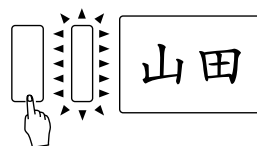
液晶画面のカレンダー表示が消える。



### 2 呼び出したい患者さんの個別ボタンを押す

個別ランプが点灯。

親機の液晶画面に通話先のベッド番号(部屋番号 - 子機番号)が表示される。



### 3 呼びかける



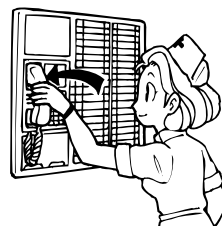
### 4 相手が出たら、通話する



### 5 終わったら、受話器を戻す

個別ランプが消える。

液晶画面がカレンダー表示に戻る。



呼び出すまえにチャイム音(ピンポンパンポン)を鳴らしたいときは

➡ 個別ボタンを押す。

チャイムボタンを押す(一度押すとチャイムが1回鳴る)。

受話器を取り、呼びかける。

個別ボタンを押す代わりに親機のダイヤルボタンで以下のように操作しても患者さんを呼び出すことができます

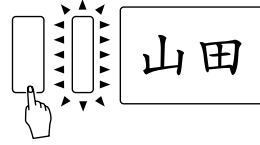
➡ 部屋番号を押す。➡ **[\*]**を押す。➡ 子機番号を押す。➡ **[呼出]**ボタンを押す。

## プレストークで話すとき

### 1 呼び出したい患者さんの 個別ボタンを押す

個別ランプが点灯。

親機の液晶画面に通話先のベッド番号（部屋番号 - 子機番号）が表示される。



### 2 プレトークボタンを 押し続けながら、 マイクに向かって呼びかける



### 3 プレトークボタン から手を離して 聞く



### 4 終わったら、クリアボタンを 押す

個別ランプが消える。

液晶画面がカレンダー表示に戻る。



呼び出すまえにチャイム音（ピンポンパンポン）を鳴らしたいときは

➡ 個別ボタンを押す。

チャイムボタンを押す（一度押すとチャイムが1回鳴る）。

プレトークボタンを押し続けながら、マイクに向かって呼びかける。

個別ボタンを押す代わりに親機のダイヤルボタンで以下のように操作しても患者さんを呼び出すことができます

➡ 部屋番号を押す。 ➡ を押す。 ➡ 子機番号を押す。 ➡ ボタンを押す。

#### お知らせ

呼び出すまえに話中ランプが点灯しているときは、他の親機などが患者さんと通話中なので、呼び出せません。

同一病室内の患者さんが別の親機と通話中に、個別ボタンを押すと話中音（ツーツーツー）が聞こえ、液晶画面に“ツウワチュウ”と表示されます。

他のナースコール親機を呼び出す場合は、他の親機番号をダイヤルボタンで押した後に呼出ボタンを押します。（この場合はプレトーク通話はできません。）

# 放送する

## 放送する（一斉放送）

### 1 受話器を取る

（受話器を取らずに2から操作するとプレトークで放送）  
できます。

液晶画面のカレンダー表示が消える。



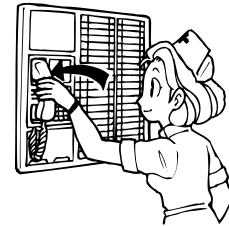
### 2 放送ボタンを押したまま、話す

液晶画面に“ホウソウチュウ”と表示される。



### 3 終わったら、放送ボタンから手を離し、受話器を戻す

液晶画面がカレンダー表示に戻る。



## お知らせ

複数のエリア（病棟）を1台の親機で管理している場合は、エリア番号を押した後、放送ボタンを押します。

同一病室内で通話している場合、その病室には放送されません。

放送するまえにチャイム音（ピンポンパンポン）を鳴らしたいときは

自動で鳴らす⇒チャイムボタンを押してオートランプの点灯を確認します。この状態で放送を行うとチャイム音が自動で鳴ります。

手動で鳴らす⇒放送ボタンを押し液晶画面の最上部に「ホウソウチュウ」と表示された後、放送ボタンを押したままチャイムボタンを押し、チャイムボタンを離してから放送します。

放送したくない患者さんがいる場合は（除局一斉放送）

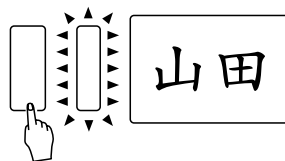
⇒受話器を取り、放送したくない患者さんの個別ボタンを押し、個別ランプが点灯したら（最大20個）、放送ボタンを押したまま話します。

## 任意の患者さんに放送する（選局放送）

- 1 放送したい患者さんの個別ボタン（最大20個）を押していく

個別ランプが順次点灯。

液晶画面に“ホウソウチュウ”と表示される。



- 2 受話器を取り、放送する

（受話器を取らずにプレストークボタンを押し続けながらマイクに向かって話すこともできます。）

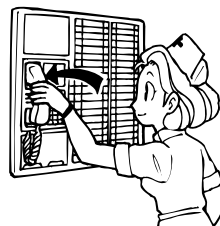
お知らせ  
します



- 3 終わったら、受話器を戻す（プレストークの場合はクリアボタンを押す）

個別ランプが消える。

液晶画面がカレンダー表示に戻る。



### お知らせ

放送中、相手との通話はできません。

放送中、別の患者さんから呼ばれたときは、個別ランプおよび親機の着信ランプが点滅し、呼出音が小さく鳴ります。

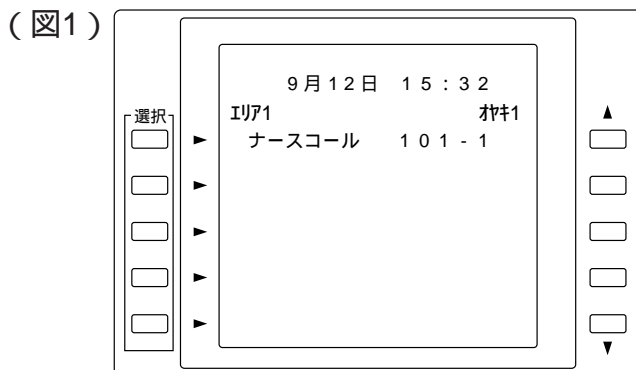
他の親機が放送中または話中ランプが点灯しているときは、放送できません。

除局一斉放送および選局放送中は、放送中の患者さんからの呼び出しはできません。

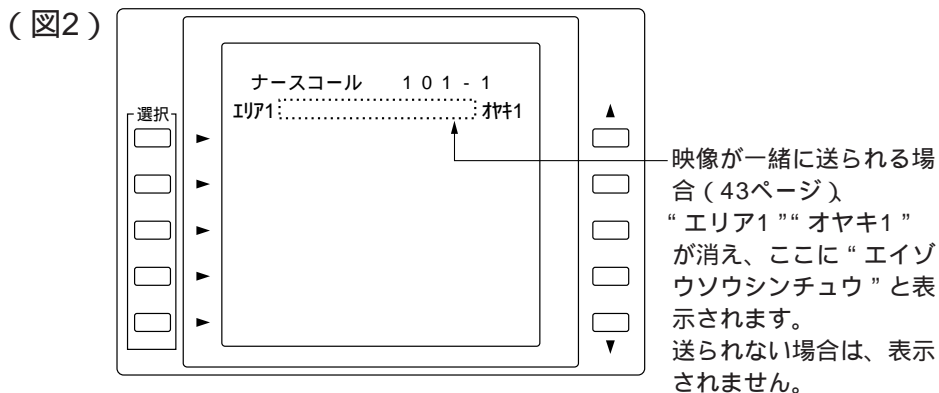
# 親機の液晶画面について

患者さんから呼ばれた場合（図1のように表示されます）

受話器をとると通話中の患者さんの部屋番号 - 子機番号が最上部に表示されます（図2）。  
通話が終わり受話器を戻すとカレンダー表示に戻ります。



受話器をとる



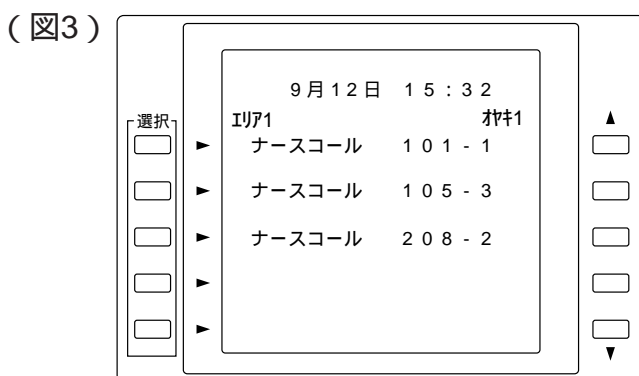
## お知らせ

液晶画面の2行目に“エリア1”と表示しているのは、その親機が管理するエリア番号を表しています。（夜間転送されて、他の親機から転送設定された場合は、その転送元のエリア番号も表示されます。）

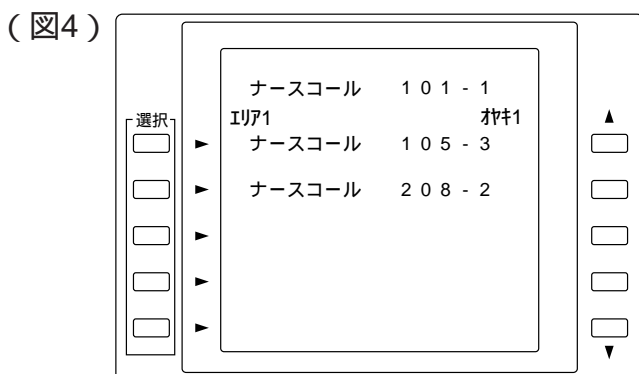
## 同時に複数の呼び出しがあった場合

優先順位設定されている場合は、優先度の高いものが上から順に表示され（図3）、受話器を取ると順番に通話することができます。ただし、表示横の“選択”ボタンを押すことで優先順位に無関係に選択した患者さんと通話ができます。

受話器を取ると通話中の患者さんの部屋番号 - 子機番号が最上部に表示されます（図4）。



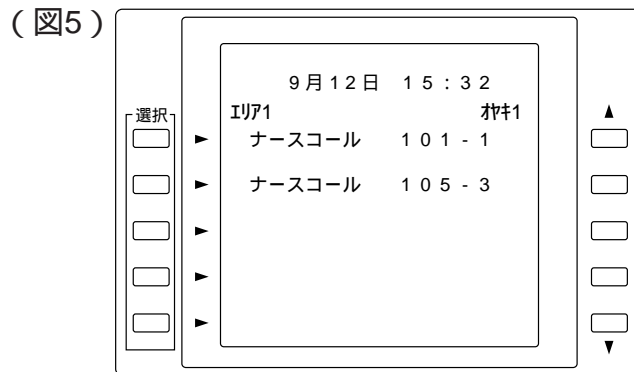
受話器をとる



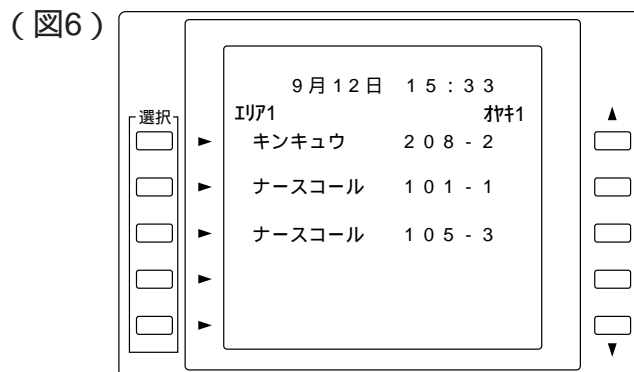
# 親機の液晶画面について

## 通常の出呼中に緊急呼出があった場合

- ・通常の出呼中に緊急呼出が発生した場合、緊急呼出を優先します（図6）。



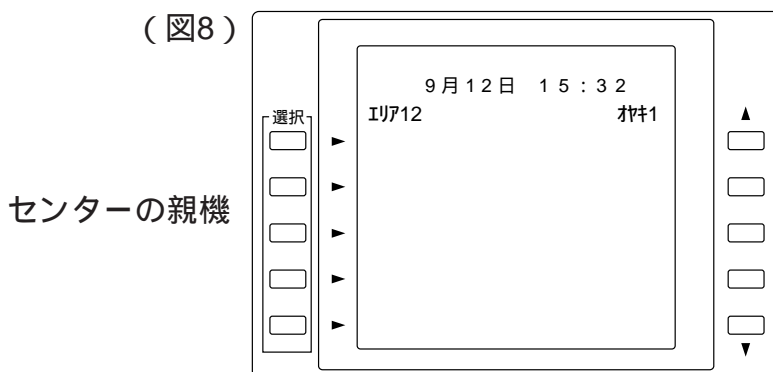
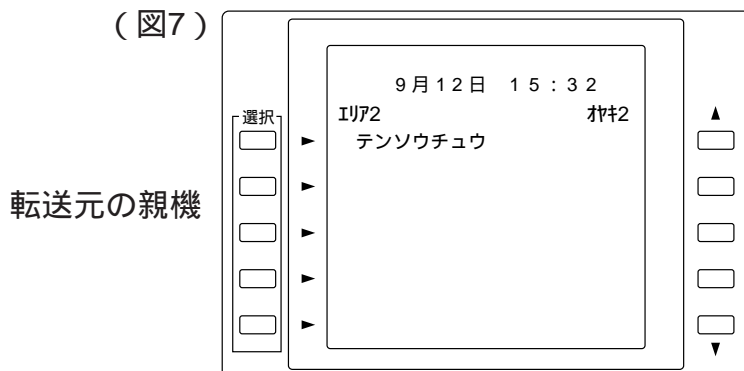
緊急呼出発生





## 夜間転送中の場合 (例：エリア2をエリア1に転送する場合)

転送元の親機には、“テンソウチュウ”と表示されます(図7)。センターの親機には、転送元の親機が管理するエリア番号も表示されます(図8)。



### お知らせ

液晶画面の2行目に“エリア1”または“エリア2”と表示しているのは、その親機が管理するエリア番号を表しています。(夜間転送されて、他の親機から転送設定された場合は、その転送元のエリア番号も表示されます。)

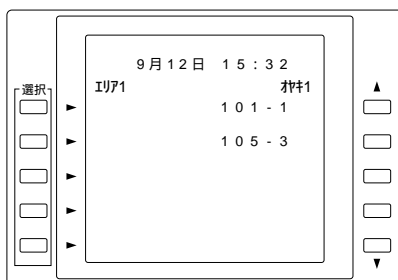
転送元の親機で設定されている呼出音がセンターの親機で鳴ります。

# 親機の液晶画面について

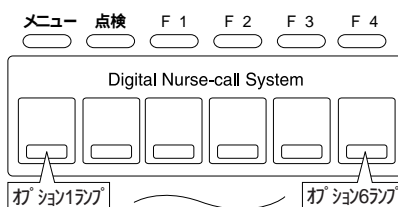
## オプション入力があった場合

1. オプションの1～6に対応して、各病室のオプション機器が動作するとベッド番号（部屋番号 - 子機番号）が表示されます（図9）。
2. 対応するオプション表示ランプが点滅します（図10）。
3. 着信ランプが点滅すると共に着信音が鳴ります。
4. 液晶画面で部屋番号と子機番号を確認した後、その左横の選択ボタンを押すと該当個所の表示は消えます。
5. 確認操作が終了すると着信ランプおよびオプション表示ランプが消灯し着信音も止まります。

（図9）



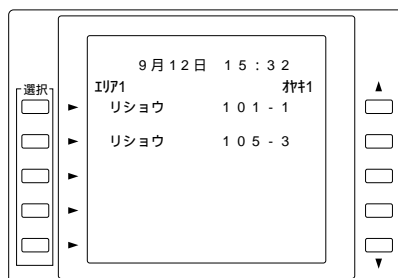
（図10）



## センサー入力があった場合

1. 各病室のセンサーが動作すると着信種別（リショウ等）とベッド番号（部屋番号 - 子機番号）が表示されます（図11）。
2. 着信ランプが点滅すると共に着信音が鳴ります。
3. 液晶画面で部屋番号と子機番号を確認した後、その左横の選択ボタンを押すと該当個所の表示は消えます。
4. 確認操作が終了すると着信ランプが消灯し着信音も止まります。

（図11）

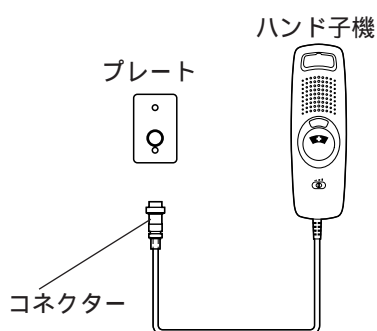


# 親機のランプと動作の関係

## 親機の個別ランプと動作の関係

動作		個別ランプの状態
待機中		消灯
患者さんから呼ばれた		ゆっくり点滅
患者さんと通話中		点灯
放送中 (全患者さんに放送する場合)		全個別ランプ消灯
放送中 (放送したくない 患者さんがいる場合)	放送されている患者さん	消灯
	放送されていない患者さん	点灯
複数の患者さんに 放送中	放送されている患者さん	点灯
	放送されていない患者さん	消灯
脱落警報(下段参照)		2回ずつ速く点滅
緊急呼出中		速く点滅

### 脱落警報



ハンド子機のコネクターが抜けると、親機から脱落警報音(ルルル)が聞こえ、該当する個別ランプが2回ずつ点滅します。

➡個別ランプが点滅中の個別ボタンを押すと、警報音が止まります。個別ランプは、ハンド子機のコネクターを正しく接続するまで点滅し続けます。親機の液晶画面にもその内容が表示されます。その表示の左横の選択ボタンを押すと、上記と同様に警報音は止まります。

#### お知らせ

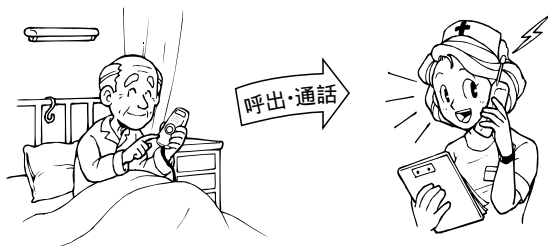
脱落警報音を鳴らすためには工事上の設定が必要です。

# コードレス電話機について(オプション)

この説明書で説明されていること以外のコードレス電話機(J-2000又はJ-3000)の機能については、コードレス電話機(J-2000又はJ-3000)の取扱説明書をご覧ください。

## ナースコールシステムからの呼び出しについて

コードレス電話機をナースコールシステムに連動してお使いの場合は、患者さんから呼ばれたとき、ナースコール呼出用の複数のコードレス電話機(J-2000:最大2台,J-3000:1グループ最大8台)を呼出すことができます。



患者さん(ナースコールシステム)から呼ばれると、コードレス電話機に患者さんのベッド番号や部屋番号などが表示され、最初に応答した人が患者さんと通話できます。

## 患者さん(ナースコールシステム)から呼ばれたら(例:J-2000の場合)

### 1 呼出音が聞こえる

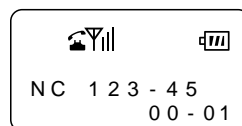
ベッド番号(部屋番号 子機番号)などが表示される



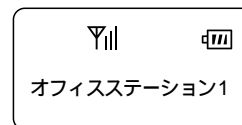
ランプ 着信:点滅

### 2 通話を押す

通話時間表示され相手と通話できる



### 3 通話を終わるときは切を押す



2で、内線発信音(ツー)が聞こえたときは

➡すでに他の人が応答しています。切を押すと内線発信音が止まります。

応答して約90秒たつと（この時間は取り付け時の設定によります。）

→通話が切れ、話中音が聞こえます。

## 呼出音は

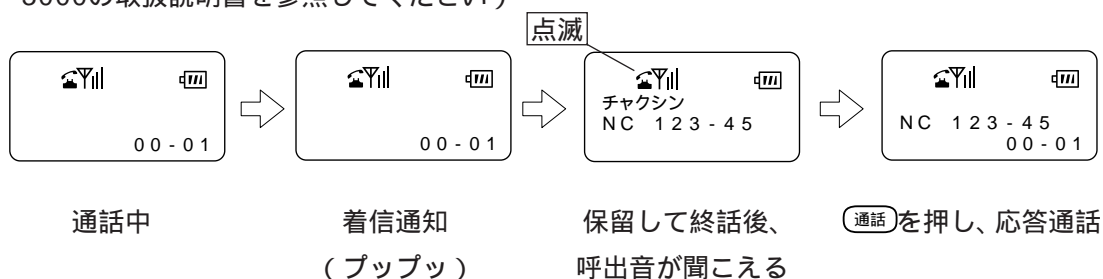
→コードレス電話機を複数台お使いのときは、順次、呼出します。（1台目のコードレス電話機で呼出音が鳴ってから2台目のコードレス電話機が鳴るまで20秒程度かかることがあります）

## 通話中着信通知 取付け時設定

→内線通話中または外線通話中にナースコールから呼び出しがあった場合に5秒周期の割り込み音（プップ）により着信通知することができます。

→着信通知時、終話または保留して終話後、呼出音が聞こえたら **通話** を押します。このとき、ベッド番号や部屋番号が表示されます。また、着信通知時、**保留/内線** を押してナースコールからの呼び出しに応答できるようにも設定できます。（J-2000の場合）

J-3000の場合は終話後 **通話** を押した後、応答特番 + グループ番号を押します。（詳細はJ-3000の取扱説明書を参照してください）



## 患者さんを呼び出す場合

**通話** を押す → 発信特番を押す → 部屋番号を押す → **\*** を押す

→ 子機番号を押す →  を押す（通話状態となる）

→ 通話を終わるときは **切** を押す。

## コードレス電話機からグループ放送を行う場合

**通話** を押す → 発信特番を押す → グループ番号を押す

→  を押す（放送状態となる） → 放送を終わるときは **切** を押す。

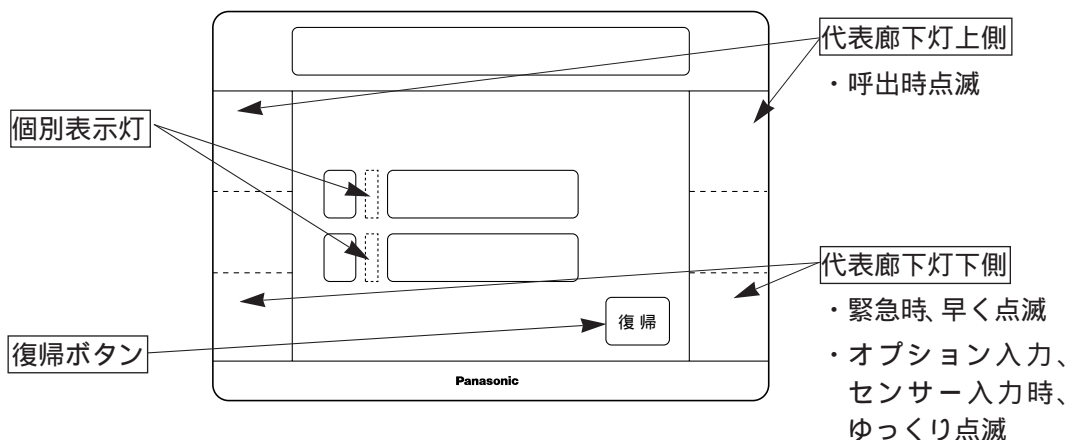
## お知らせ

- ・コードレス電話機から親機を呼び出すことはできません。
- ・反対に親機からコードレス電話機を呼び出すこともできません。

応答特番		（販売店にご確認いただき、左記に特番を記入してください。）
発信特番		

# 病室アダプターの動作について

図は2床用を例にして記載しています。



## 呼出ボタンを押した場合

呼出ボタンを押した個別表示灯が点灯します。

代表廊下灯の上側のランプが左右交互に点滅します。

病室アダプターの復帰ボタンを押すか、ナースセンターの親機やコードレス電話機との通話によりランプは消灯します。

## 緊急ボタンを押した場合

緊急ボタンを押した個別表示灯が点灯します。

代表廊下灯の下側のランプが左右交互に早く点滅します。

病室アダプターの復帰ボタンを押すか、ナースセンターの親機やコードレス電話機との通話によりランプは消灯します。

## 子機のコネクターがはずれた場合

コネクターがはずれたベッドの個別表示灯が2回ずつ早く点滅します。

子機のコネクターを正しく接続するまで点滅し続けます。

## オプション入力、センサー入力があった場合

オプション入力、センサー入力があった個別表示灯が点灯します。

代表廊下灯の下側のランプが左右交互にゆっくり点滅します。

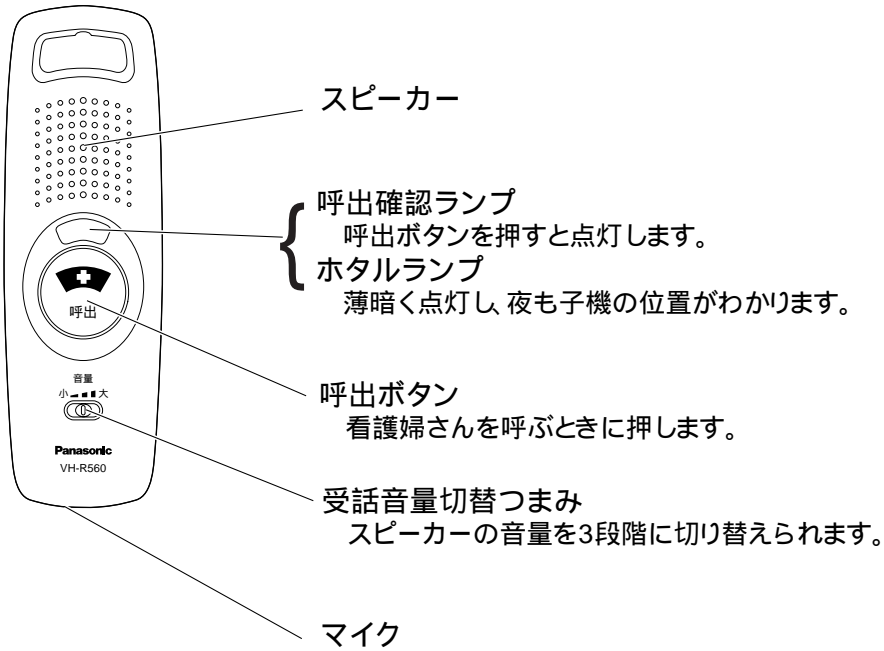
### お知らせ

オプション入力、センサー入力による代表廊下灯の点滅は、オプション入力、センサー入力なくなるまで続きます。復帰ボタンを押しても復帰しません。

# ハン生子機について

## ハン生子機について

患者さんが、病室から看護婦さんを呼ぶときに使います。  
操作は、VH-R560を例として説明しています。

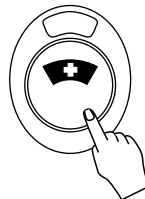


# ハンド子機について

## 看護婦さん（親機）を呼ぶには

- 1 呼出ボタンを押し、呼出確認ランプが点灯したら、手を離す

呼出確認ランプが点灯



- 2 応答したら、声が聞こえる

呼出確認ランプが消える



- 3 マイク（ ）に向かって話す

マイクを手でふさがないようにお使いください。



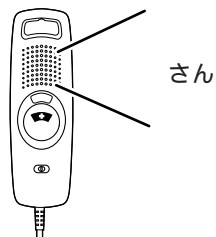
呼出ボタンを押すと、個別表示灯も点灯します。

- ➡看護婦さんは個別表示灯が点灯していたら、廊下灯の復帰ボタンを押して、個別表示灯を消し、患者さんと直接話してください。
- ➡復帰ボタンを押すと、親機への呼出が止まり、ハンド子機の呼出確認ランプも消えます。



## 看護婦さん（親機）から呼ばれたら

### 1 声が聞こえる



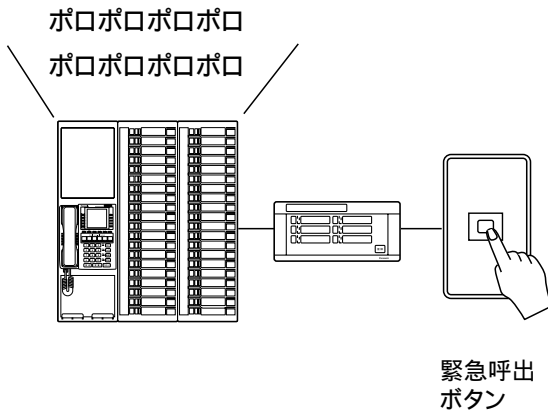
### 2 マイク（ ）に向かって話す



マイクを手でふさがないようにお使いください。

# その他のオプション機器

## 緊急呼出ボタン



病室の緊急呼出ボタンを押すと、親機から緊急呼出音が鳴り、廊下灯が点滅します。

親機で応答するか、病室アダプターの復帰ボタンを押すと呼び出しが止まり、廊下灯が消えます。

## 映像伝送アダプター

カメラやモニターテレビを接続した映像伝送アダプターを接続すると、ハンズ子機の呼び出しに応じて

病室側の映像を親機側に  
親機側の映像を病室側に

送ることができます。(43～46ページ参照)

## 在床検知センサー

患者さんがベッドから離れると、親機から呼出音が鳴り、廊下灯が点滅します。

呼出音を止めるには...親機の確認操作(34ページ「センサー入力があった場合」手順3 参照)を行ってください。

廊下灯を消灯させるには...在床検知センサーの警報解除操作を行ってください。

(在床検知センサーの操作については、そちらの取扱説明書をご覧ください。)

# 映像伝送アダプター接続時

患者さんから呼ばれたら  
(映像を送る場合)

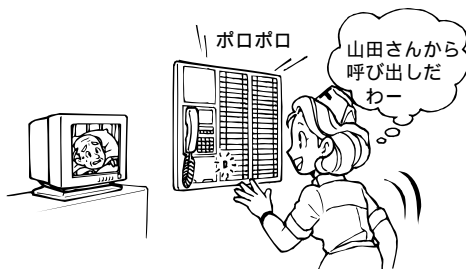
(映像伝送アダプターを接続した場合の操作説明です。親機側、病室側それぞれにカメラとモニターテレビ(別設置)が設置されている場合です。)

## 受話器で話すとき

### 1 呼出音が鳴り、呼び出している個別ランプおよび親機の着信ランプが点滅

親機の液晶画面に着信種別(ナースコール等)とベッド番号(部屋番号 - 子機番号)が表示される。

病室側のカメラの映像がモニターテレビに映し出される。別の親機で通話中の場合は“画面表示まち”と表示されるときがあります。(映像は1秒1コマのコマ送りです。)



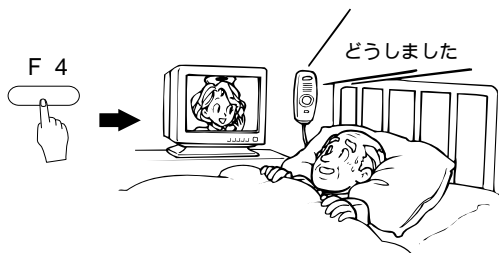
### 2 受話器を取り、通話する

個別ランプが点灯し、着信ランプが消灯。

親機の液晶画面の最上部に通話中の着信種別とベッド番号(部屋番号 - 子機番号)が表示される。映像送信ボタン(F4)を押すと、親機側のカメラの映像が病室側のモニターテレビに映し出される。

(映像は1秒1コマのコマ送りです。)

親機の液晶画面に“エイゾウソウシンチュウ”が表示される。

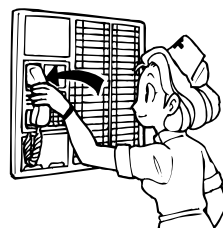


### 3 終わったら、受話器を戻す

個別ランプが消える。

液晶画面がカレンダー表示に戻る。

映像が消える。



その他

## お知らせ

設定により、親機映像自動伝送モードにすれば、受話器を取るだけで親機側のカメラ映像を病室側のモニターテレビに映し出すこともできます。(設定を変更する場合は工事業者にお問い合わせください。)

映像が立ち上がる時、青画面が表示され、その後数秒間モザイク状の画面となります。被写体が動くとモザイク状の画面になることがあります。

# 映像伝送アダプター接続時

患者さんから呼ばれたら  
(映像を送る場合)

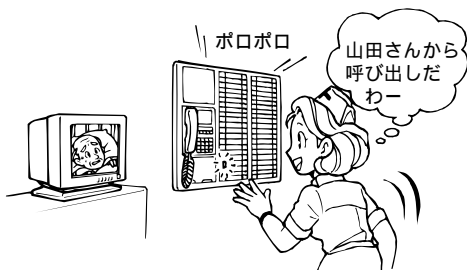
(映像伝送アダプターを接続した場合の操作説明です。親機側、病室側それぞれにカメラとモニターテレビ(別設置)が設置されている場合です。)

## プレストークで話すとき

### 1 呼出音が鳴り、呼び出している個別ランプおよび親機の着信ランプが点滅

親機の液晶画面に着信種別(ナースコール等)とベッド番号(部屋番号 - 子機番号)が表示される。

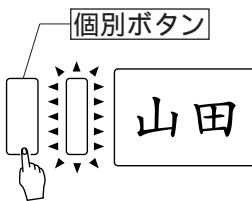
病室側のカメラの映像がモニターテレビに映し出される。別の親機で通話中の場合は“画面表示まち”と表示されるときがあります。



### 2 個別ボタンを押す

個別ランプが点灯し、着信ランプが消灯。

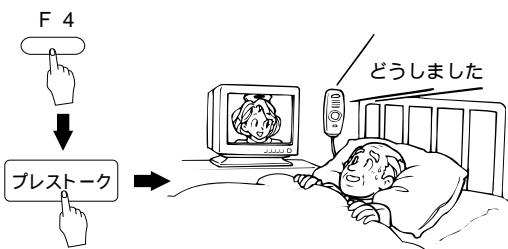
親機の液晶画面の最上部に通話中の着信種別とベッド番号(部屋番号 - 子機番号)が表示される。



### 3 プレストークボタンを押し続けながら、マイクに向かって話す

映像送信ボタン(F4)を押したあと、プレストークボタンを押しながらマイクに向かって話すと、親機側のカメラの映像が病室側のモニターテレビに映し出される。

親機の液晶画面に“エイゾウソウシンチュウ”が表示される。



### 4 プレストークボタン から手を離して聞く

プレストーク



### 5 終わったら、クリアボタンを押す

個別ランプが消える。

液晶画面がカレンダー表示に戻る。

映像が消える。

クリア



## お知らせ

他の親機などが先に応答したときは個別ランプが点灯し、応答操作をすると話中音(ツーツー)が聞こえ、液晶画面に“ツウワチュウ”と表示されます。

同一病室内の患者さんが別の親機と通話中に応答操作をすると話中音(ツーツー)が聞こえ、液晶画面に“ツウワチュウ”と表示されます。

# 映像伝送アダプター接続時 （映像を送る場合） 放送する

（映像伝送アダプターを接続した場合の操作説明です。親機側、病室側それぞれにカメラとモニターテレビ（別設置）が設置されている場合です。）

## 放送する （一斉放送）

### 1 受話器を取る

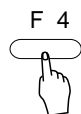
（受話器を取らずに2から操作するとプレストークで放送）  
できます。

液晶画面のカレンダー表示が消える。



### 2 映像送信ボタン（F4）を押す

液晶画面に“エイソウ”と表示される。



### 3 放送ボタンを押したまま、話す

液晶画面に“ハウソウチュウ”と表示される。

親機側のカメラの映像が音声と一緒に配信される。

（映像は1秒1コマのコマ送りです。）

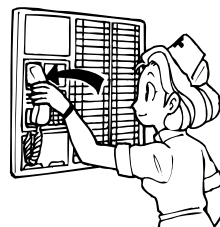
液晶画面に“エイソウソウシンチュウ”と表示される。



### 4 終わったら、放送ボタンから手を離し、受話器を戻す

液晶画面がカレンダー表示に戻る。

映像が消える。



## お知らせ

映像の除局一斉配信はできません。

設定により、親機映像自動伝送モードにすれば、放送ボタンを押すだけで、親機側のカメラの映像を音声と一緒に配信することもできます。（設定を変更する場合は工事業者にお問い合わせください。）

映像が立ち上がる時、青画面が表示され、その後数秒間モザイク状の画面となります。  
被写体が動くともザイク状の画面になることがあります。

# 映像伝送アダプター接続時 放送する (映像を送る場合)

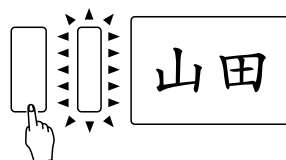
(映像伝送アダプターを接続した場合の操作説明です。親機側、病室側それぞれにカメラとモニターテレビ(別設置)が設置されている場合です。)

## 任意の患者さんに放送する (選局放送)

- 1 放送したい患者さんの個別ボタン  
(最大20個)を押していく

個別ランプが順次点灯。

液晶画面に“ホウソウチュウ”と表示される。

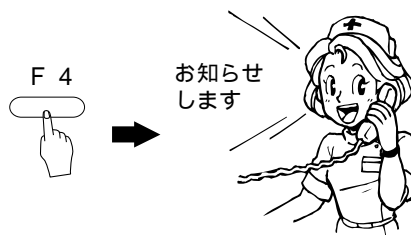


- 2 映像送信ボタン(F4)を押して、受話器を取り、放送する

受話器を取らずに、プレストークボタンを押し続けながらマイクに向かって話すこともできます。選局( )した患者さん側のモニターテレビへ、映像を一斉配信します。

(映像は1秒1コマのコマ送りです。)

液晶画面に“エイゾウソウシンチュウ”と表示される。(モニターテレビがない患者さんを選局した場合でも、表示されます。)



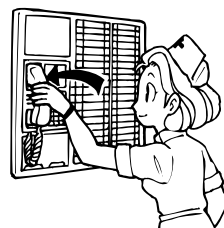
選局を追加したい場合...映像送信ボタン(F4)を押したあと、続けて個別ボタンを押すと、その患者さんへも放送されます。(追加選局の患者さん側へは映像配信されません。)

- 3 終わったら、受話器を戻す(プレストークの場合はクリアボタンを押す)

個別ランプが消える。

液晶画面がカレンダー表示に戻る。

映像が消える。



### お知らせ

設定により親機映像自動伝送モードにした場合は、選局放送による映像一斉配信はできません。映像が立ち上がる時、青画面が表示され、その後数秒間モザイク状の画面となります。被写体が動くとモザイク状の画面になることがあります。

# 仕 様

## 《ボード形親機》

品番	VH - M483		VH - M203	
局数	—		20	
外形寸法	高さ	699 mm		
	幅	210 mm		
	奥行き	54 (ハンドセット含むと98) mm	54 mm	
質量	約2.9 kg		約1.9 kg	
電源	中央制御装置より供給			
外觀材質	ABS樹脂			
取付方法	壁取付形			
使用環境条件	周囲温度0 ~ 40 湿度80%以下 (ただし、結露しないこと)			

## 《卓上形親機》

品番	VH - M482 / VH - M481		VH - M202	
局数	—		20	
外形寸法	高さ	230 mm	233 mm	
	幅	196 mm	123 mm	
	奥行き	106 (ハンドセット含むと119) mm	107 mm	
質量	約1.2 kg		約0.5 kg	
電源	中央制御装置より供給			
外觀材質	ABS樹脂			
取付方法	卓上形			
使用環境条件	周囲温度0 ~ 40 湿度80%以下 (ただし、結露しないこと)			

## 《病室アダプター・トイレアダプター》

品番	VH - R680/1~3、 VH - R680T/1~3、 VH - R681	VH - R680/4、 VH - R680T/4	VH - R680/6、 VH - R680T/6
外形寸法	高さ	175 mm	
	幅	250 mm	375 mm
	奥行き	53 (埋込部28) mm	
質量	約0.6 kg	約0.8 kg	約0.9 kg
電源	増設制御装置、中央制御装置より供給		
外觀材質	ABS樹脂		
取付方法	壁埋込形		
使用環境条件	周囲温度0 ~ 40 湿度80%以下 (ただし、結露しないこと)		

その他

# 保証とアフターサービス (よくお読み下さい)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は...

まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

保証書 (中央制御装置 (VH-M101) に添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

補修用性能部品の保有期間

当社は、このナースコールシステムの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

(注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼される時

お買い上げの販売店へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料** は、診断・故障個所の修理および部品交換・調節・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料** は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

お 買 上 げ 日	年 月 日	品番	VH-M483、VH-M203、VH-M482、 VH-M202、VH-M481
販 売 店 名			☎( ) -
お 客 様 ご 相 談 窓 口			☎( ) -

松下電器産業株式会社

松下通信工業株式会社 セキュリティ & セーフティ事業部

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地 ☎(045)-932-1231(大代表)

AA0398-5041

C8QA4956FN